

鹿屋体育大学「未来創成基金」を設立しました。

（ご支援のお願い（未来創成基金・修学支援基金））

学長挨拶

鹿屋体育大学の教育・研究活動に関し、日頃より温かいご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

本学は、令和3年(2021年)10月1日に開学40周年を迎えました。今後も国立で唯一の体育系単科大学として、スポーツ、武道、体育及び健康づくりの各分野における教育・研究活動のより一層の充実に向け努力していく所存です。

時代は、デジタル駆動型社会として日々著しい変化を遂げています。情報通信技術の進歩は、スポーツ・健康づくりやアスリート支援の効率化・高度化を促進し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の在り方を大きく変えつつあります。そのようなスポーツを取り巻く状況の急速な変化に対し、本学は2050年をターゲットイヤーとする、長期ビジョン「NIFS NEXT30」を策定し、「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」を軸とするアクションプランに基づき、これまで以上にスピード感をもって対応することとしました。その一方で、NIFS NEXT30において策定される大学のミッションを達成するためには、財務基盤の強化が欠かせません。本学では、これまでにもご支援いただいていた「修学支援基金」に加え、この度、教育・研究活動の活性化及び国際交流・社会連携の推進に資することを目的に、「鹿屋体育大学未来創成基金」を創設することといたしました。

教職員自らの努力はもとより、同窓生、在学生やそのご家族、企業・団体等の皆様からのご支援を賜ることで、大学ビジョンNIFS NEXT30を実現する力にしていきたいと思います。是非とも「鹿屋体育大学未来創成基金」を通じて、本学への応援をよろしく願いいたします。



NIFS NEXT 30の
公式サイト

基金の種類

鹿屋体育大学未来創成基金

本学の教育研究の活性化を図るとともに、国際交流及び社会連携の推進に資することを目的とし、大学全体の活動を広く支援するものとして活用します。

鹿屋体育大学修学支援基金

経済的理由により修学が困難な学部学生、大学院生を支援することを目的とし、学生の経済支援を行います。

寄附額

【法人】 10,000円～

【個人】 3,000円～

税制上の優遇措置

【法人】
寄附金の全額を損金算入することができます。

【個人】
・所得税の寄附金控除
所得控除：(寄附金額-2,000円)を課税所得金額から控除
税額控除：(寄附金額-2,000円)×40%を所得税額から控除
(税額控除は、修学支援基金のみ対象)

・個人住民税(県民税・市町村民税)の寄附金税額控除
県民税：(寄附金額-2,000円)×4%を所得税額から控除
市町村民税：(寄附金額-2,000円)×6%を所得税額控除

公式ウェブサイトへの掲載

希望者は、公式ウェブサイトでご芳名等を掲載予定です。

その他の寄附方法

リサイクル募金「きしゃぼん」を開いたします。



詳しくは、
本学基金ウェブサイトへ
ウェブサイトからご確認ください。

お申込み・お問い合わせ先



かのや
国立大学法人 鹿屋体育大学
NIFS NATIONAL INSTITUTE OF FITNESS and SPORTS in KANOYA

広報・企画室企画係

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1 E-mail: k-kikaku@nifs-k.ac.jp
TEL:0994-46-4806 FAX:0994-46-2831

【個人情報に関する
確認事項：必須】

個人情報に関する取り扱いについては、こちらからご連絡をお願いいたします。

